

中国の記事から（畜産）

2006年5月31日号

目次

◎乳業大手の伊利、5.8億元を投じ湖北省で工場建設

【経済日報 2006年05月23日】

◎肉製品の合格率は72.5%

【経済日報 2006年05月26日】

◎乳業大手の伊利、5.8億元を投じ湖北省で工場建設

【経済日報 2006年05月23日】

乳製品大手・内蒙古伊利集団(伊利)は、18日、湖北省黄冈市政府との間で同市にて乳製品総合事業を展開する契約を取り交わした。投資額は5億8,000万元に達する見込み。黄冈市は、湖北省大別山南部に位置する自然環境に恵まれた場所で、乳牛の飼育に適している。

伊利は、同市で生産した製品を華中地区、華南地区、華東地区で販売していく。伊利は、2005年、12億8,000万元を投じて東北地区、内モンゴル自治区フフホトとパオトウ、華北地区、華南地区などで乳製品生産工場を建設した。黄冈市で乳製品総合事業を展開することで、伊利は全国範囲で生産工場を建設することになる。また、今後は中小都市の乳製品市場開拓に力を入れていく方針である。

◎肉製品の合格率は72.5%

【経済日報 2006年05月26日】

中国商業聯合会肉禽蛋質量検測センター(肉製品、家禽製品、たまご製品の品質検査を担当)は、北京、ハルピン(黒龍江省)、東莞(広東省)、自貢(四川省)の4市の大型デパート、スーパーマーケット15社で販売されている肉製品91製品を対象に行った品質サンプリング検査の結果を発表、合格率は72.5%となったことを明らかにした。細菌数、大腸菌が基準をオーバーしたものが14製品に上り、不合格製品全体の56%を占めたのが目立った。

また、ソルビン酸、安息香酸、着色剤などの添加剤が基準をオーバーする問題も目立っている。

本情報は、株式会社日本能率協会総合研究所により
翻訳された中国の新聞記事をもとに、同社の許可を得て
独立行政法人農畜産業振興機構が整理したものです。